

医療系と非医療系別にみた女子大学生における子宮頸がんに関する知識の差と関連因子

1. 臨床研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「臨床研究」といいます。その一つとして、九州大学では、対象と女子大学生を対象として、ヘルスプロモーションに関する研究を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局臨床研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和4年3月31日までです。

2. 研究の目的や意義について

子宮頸がん無料クーポンの配布対象である20歳を過ぎている女子大学生3・4年生を対象として、子宮頸がん検診に関しての知識があると思われる医学部系と非医学部系とでは、子宮頸がんに関する知識に差があるのか、あるとすれば、その差が子宮頸がん検診受診行動やSTI予防に対する意識にどう関連しているかを検討するために「子宮頸がん・子宮頸がん検診に対する理解度と検診受診行動に影響する因子」(30-52)のデータを使用させていただきます。「医療系と非医療系別にみた女子大学生における子宮頸がんに関する知識の差と関連因子」で収集する本学看護学部約120名のデータと合わせて分析する予定です。

3. 研究の対象者について

許可番号：30-52

課題名：「子宮頸がん・子宮頸がん検診に対する理解度と検診受診行動に影響する因子」

許可期間：平成30年5月25日～平成31年3月31日

本研究に使用する試料・情報の取得期間：

2018年6月8日～7月21日に九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野修士課程助産学コースで行った「女子大学生の皆様へのアンケート」に参加いただいた、九州大学9学部（教育・法・経済・理・歯・薬・工・農・21世紀プログラム）の3・4年生女子262名のアンケートのデータを、本研究で使用させていただきます。

その後「医療系と非医療系別にみた女子大学生における子宮頸がんに関する知識の差と関連因子」で収集する本学看護学部約120名のデータと合わせて、計382名のデータとし、本研究の対象といたします。

4. 研究の方法について

上述の対象者のアンケート紙媒体は、研究責任者の部屋の鍵付きの書庫で保管しており、本研究の分析には、統計ソフトウェア「SPSS for windows ver.25」のデータのみを使用いたします。このデータは全て数値化されているので、すでに個人が特定できない状態になっております。本研究への参加を望まない場合でも、個人のデータを除外することはできません。ご理解いただければと思います。もし違和感や不快感を感じる場合は、令和元年7月31日までに研究責任者までご相談ください。

5. 個人情報の取扱いについて

この研究に上述したデータを使用する際には、容易に研究対象者が特定できる情報を削除して取り扱います。この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院医学系研究保健学部門看護学分野・教授・谷口初美の責任の下、厳重な管理を行います。

6. 試料や情報の保管等について

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院医学系研究保健学部門看護学分野において同分野教授・谷口初美の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

7. 利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかとという疑問が生じることがあります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は部局運営費であり、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

(窓口：九州大学 ARO 次世代医療センター 電話：092-642-5082)

8. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

9. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所 (分野名等)	九州大学大学院医学系研究院保健学部門看護学分野
研究責任者	九州大学大学院医学系研究院保健学部門看護学分野 准教授 川田紀美子
研究分担者	九州大学医学保健学科看護学専攻 4年生 小原美幸

10. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、事務局までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	担当者：九州大学医学部保健学科看護学専攻 連絡先： TEL/FAX：092-642-6742 (川田) E-mail：obara.miyuki.134@s.kyushu-u.ac.jp (小原)
---------------	--